

令和4年度全国母子寡婦

研修大会に参加して

(オンライン動画視聴参加)

開催日 令和4年11月5日

開催地 滋賀県大津市

室蘭母子福祉会

原 順子

今回の大会は会場参加者が約300名と、参加者がオンラインで動画を視聴する新しい形の大会でした。その研修討議で私は子ども食堂について発表しました。ただコロナ禍で滋賀県まで行く事は難しいので、事前に発表を録画撮りし、それを流しました。また当日Zoomでつなぎ、補足説明もしました。

令和5年度道費予算等に係る要望書提出しました

令和4年10月13日に北海道知事と自由民主党北海道支部に提出。北海道知事宛の要望書は、保健福祉部子ども未来推進局長室にて、竹澤孝夫局長に畑和子理事長がお渡ししました。来年度の委託費・補助金等が減額にならない様にお願いました。



コーディネーターの方

は発表の中のキーワード

を上手く取り上げ、参加者に分かりやすく解説してくれました。

大会は講演とシンポジウムと続き

ました。活動には「連携」が大事で、ひとり親が抱える問題に寄り添えるのはひとり親だからこそだと思えました。当事者団体の役割を改めて感じました。

情報過多な今、必要な情報を必要な人にどう届けるかが課題ではないでしょうか。



YouTubeで大会視聴中の原順子会長

第66回東北・北海道地区

母子寡婦福祉研修大会に参加して

開催日 令和4年9月3〜4日

場所 札幌市定山溪

旭川市母子福祉連合会

加藤 千顕

この度の研修には旭川から9名(内子供1名)が参加しました。新型コロナウイルス感染症が終息しない中、少し気になりましたが、参加して勉強させていただきました。

皆さん自立を目指して頑張っています。でもコロナの影響もあり、厳しい生活を強いられている方も沢山いらっしゃいます。収入が安定することが大事で、健康や進学に繋がり、それが子供に安心感を与えるのではないのでしょうか。

厚生労働省の「ひとり親家庭への支援施策」の説明も色々沢山あって、勉強不足を痛感しました。ちゃんと勉強して、参加出来なかった会員さんに伝えなければ...と思いました。

登別温泉の郷土芸能「熊舞」初



旭川から参加の方々

めて見ました。町の人々と熊との関わり合いを表現した、お湯への感謝と千客万来を祈願したものとか。伝統の舞です。

交流会では、歌ったり踊ったりはありませんでしたが、周りの方々と美味しいお料理をいただき、ビールを飲み、楽しくお喋りをし、アツという間に時が過ぎました。お部屋に戻ってお喋りし、お風呂に行き、翌朝もまたお風呂に入って「極楽ごくらく」と日常を離れたゆつたりとした時間。楽しい時を過して「来年、秋田に行きたいねエ」と話しながら帰ってきました。

令和5年度は秋田県でお会いしましょう!